

大雨を想定した避難訓練を開催した。住民の方々には、各地区に決められた避難所へ移動する際に、危険となりうる地点について意識しながら避難を行っていただいた（図3）。

4.2 第1回ワークショップの開催

避難訓練終了後、地区ごとのグループワークを実施し、避難訓練を通じて参加者が感じた課題、良かった点を整理するとともに、各地区で避難ルールを作成するための意見交換、土砂災害ハザードマップの作成に向けた地区の危険箇所の共有を行った。

4.3 第2回ワークショップの開催

避難訓練および第1回ワークショップの結果を基に修正した、ハザードマップ（案）と平野地区防災計画更新（案）について、内容の確認と意見交換を行い、さらなる改良を行うことを目的とした第2回ワークショップを開催した。

5. 地区防災計画の更新

避難訓練および2回のワークショップ結果（表1）を基に、ハザードマップ素案の作成および平野地区防災計画の更新（案）の作成を行った。本谷地区および富元地区に位置する地すべりは、伸縮計等の滑動状況が把握できる監視・観測が可能な機器が設置されていない。そのため、地すべりに対する避難行動についてはハザードマップ上に「地すべり滑動の予兆」について記載する方法とした。また、地すべりが一度滑動した場合、広範囲に被害が発生し避難に大きく影響が出るため、早めの避難が必要となる。これを受け、地すべりの予兆が見られた場合は警戒レベルが3の時点で避難行動を行うとの意見が出たため、地すべりに対応した対応行動を定めた。作成した富元地区のハザードマップ素案を図4に示す。なお、作成したハザードマップは平野地区防災計画に追加するとともに、住民配布が可能なようにA3サイズで作成している。

表1 富元地区における第2回ワークショップの意見

分類	意見	対応方針
避難行動	<ul style="list-style-type: none"> 私の避難行動 ・コミュニティセンターの連絡先がよい ・大洲市危機管理課の担当先（窓口）もわかるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> →連絡先に平野コミュニティセンターの電話番号を追加する。 →現状対応なし。
	<ul style="list-style-type: none"> 地区の避難ルール ① 平野運動公園（体育館）と修正。 	<ul style="list-style-type: none"> →大洲市体育センターは普段使わない名称のため「平野運動公園」の通称を併記する。
タイムライン	<ul style="list-style-type: none"> 情報の入手先 意見なし 	→変更なし
	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト 意見なし 各段階における避難行動、追加すべき行動内容 【「皆さんが取るべき行動」への意見】 ・平野運動公園（体育館）と修正。 	→大洲市体育センターは普段使わない名称のため「平野運動公園」の通称を併記する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・機器による計測にして、基準をはっきりしてくれないと動きづらい ・雨量計の設置。 	→参考意見として、市や県に情報共有を行う。
危険箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・道路はある程度広さある。 ・道が浸水した実績はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所に追加情報はない。 ・避難経路も再検討したが、危険はないようなので修正なし。
レイアウト・デザイン	<ul style="list-style-type: none"> マップのデザイン等の基本部分について 【背景図】 ・オルソ 【警戒区域の色について】 ・区分あり 【文字は見やすいか】 ・これで良い 【マップの大きさ】 ・A3 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の条件で更新する。 ・背景図 オルソ ・警戒区域の色 災害種別ごと ・サイズ 配布用A3、集会所用A1
追加情報	意見なし	→変更なし



図3 避難訓練（左）・第1回ワークショップ（右）の様子



図4 富元地区ハザードマップ素案

6. 今後の展望

今回、大洲市平野町の本谷地区と富元地区を対象に、地すべり地における地区防災計画策定支援を行い、マニュアル（案）に記載されている取り組み例としては3事例目であった。今回の対象地区は地すべり地を主としない地区であったため、本マニュアル（案）の事例としては特異な例であったが、ワークショップ等の取り組みを通じて地すべりに関する意識を持たせることで、地すべりについて考慮された地区防災計画の更新を行うことができた。今後においても、地すべり地を含む地区を対象とした取り組みを実施し、マニュアル（案）の更新を図っていくことが望まれる。また、現在の防災気象情報では地すべりを対象とした警戒レベルの設定はされていないことから、地すべり地を含む地区の現状を考慮した地区防災計画の策定を行い、各警戒レベルに対応する避難行動を定める取り組みを広げていくことが望まれる。